

2025 年度 教育課程編成・実施の方針に照らした学習への取り組みの適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふりかえり（学科教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の入学受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 共生まちづくり学科

2025 年度は 1 年次学生のみ在籍しており、学科全体として回答者数 35 名である。この回答をもとに検証を行った。

平均値を採用して分析した結果が以下になる。

平均値	1年次 終了時
経済社会のしくみを学ぶ基礎理解力	4.06
社会の課題の発見力	4.17
総合的な解決の可能性の理解力	4.17
理論的な課題分析力	4.03
地域実践を進める力	4.03
観光・文化的解決視点をもった実践力（総合的実践力）	4.09
複合領域の学びを踏まえた課題解決の実践力（実践力）	3.79

今年度において 1 学年のみのアンケート結果となるため経年での分析は不可能であるが、ほとんどの項目において 4 以上であり概ね高い数値を記録していることが確認できる。一方で「複合領域の学びを踏まえた課題解決の実践力（実践力）」の項目において 3 点台後半とやや低めの数字となっていることから、次年度以降における学修成果の改善を進めたい。

以上から、学科の取り組みはおおむね適切と言える。

